



コロナ禍のセネガルから 母子に寄り添ったケアへの取り組み

国立国際医療研究センター 国際医療協力局 人材開発部 研修課

菊地 紘子

(元・国際協力機構 (JICA)
セネガル母子保健サービス改善プロジェクト専門家)

おもてなし精神の国、セネガル

「サラムレイコム (こんにちは)。アッサラーム・アレイクム。(こんにちは)。ご機嫌いかがですか？仕事は順調ですか？家族はお元気ですか？健康状態はどうですか？…そうですか、それはよかったです。アラハンドゥリラー (神様のおかげですね)。」このような挨拶が、そこかしこで広げられる国、セネガル。時間をかけて、お互いを敬う挨拶は、セネガル国民にとってかけがえのない大切なひとときです。セネガルは、おもてなし精神 (テランガ) の国といわれており、セネガル国民は外国人にも分け隔てなく温かく、そして富める者は貧しき者に施す文化があります。

私は2019年10月から2年間、国際協力機構

(JICA) の長期専門家としてセネガルのダカールに赴任し、セネガル母子保健サービス改善プロジェクトの保健医療行政・看護助産教育を担当し活動してきました。途中、コロナ禍のため退避帰国し、日本から遠隔支援していた期間もありましたが、ダカール在任中は大西洋に沈む夕日の見えるアパートマンに暮らしていました。停電・断水・雨漏りなど様々なハプニングにも見舞われ、アフリカらしい暮らしでもありました。本稿では、セネガルでの活動や生活についてご紹介いたします。(写真①夕日)

セネガルの概況

セネガルはアフリカ大陸最西端に位置し、西は大西洋岸に面しており、北はモーリタニア、東はマリ、南はギニアとギニアビサウと国境を接していま



写真①夕日



写真②チェブジェン

す。熱帯性の乾燥した気候であり、乾季と雨季に分かれます。国土面積は197,161 km²（日本の約半分）、人口約1,674万人が暮らしていますⁱ。フランス語が公用語ですが、ウォロフ族、プル族、セレール族など様々な民族が共存し、それぞれの民族語や文化・習慣があります。宗教はイスラム教、キリスト教、伝統宗教が共存し、イスラム教にも様々な宗派があります。セネガルは漁業が盛んで、魚介類と野菜を煮込んだ炊き込みご飯（チェブジェン）がセネガル人の国民食です。お盆ように大きなお皿に盛り付けられ、家族や仲間とわけて食べる料理で、ユネスコ世界無形文化遺産にも登録されました。（写真②チェブジェン）

セネガルの保健医療状況

セネガルの保健行政は、国（保健社会活動省）・州（州医務局）・保健区（保健区医務局）という体制があります。日本でいうところの厚生労働省、都道府県、保健区は日本の市町村、保健区医務局は保健所に近い位置づけです。

セネガルの保健医療施設は、高次機能を果たす三次医療施設（病院）と、地域の中核となる二次医療施設（病院または保健センター）、住民に一番近い一次医療施設（保健センターまたは保健ポスト）があります。一次医療施設で対応不可能な場合は二次

医療施設へ、さらに高度な対応が必要な場合は三次医療施設へ搬送されます。

また、セネガルの保健医療従事者の数は、人口1000人あたりの医師数が0.07人、看護師・助産師数は0.31人であり、日本に比べるととても少ないです（日本の人口1000人あたりの医師数は2.41人、看護師助産師数は12.15人）ⁱⁱ。ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）を達成するために適切な医師・看護師・助産師数は人口1000人あたり4.45人でありⁱⁱⁱ、セネガルの保健医療人材はまだまだ不十分な状況です。

セネガルの母子保健状況

セネガルでは、約500人に1人のお母さんが出産に関連して命を落とします。（妊産婦死亡率：出生10万における死亡236）また、約27人に1人の子ども達が5歳の誕生日を迎えることなく命を落としています（5歳未満児死亡率：出生1000における死亡37）^{iv}。これらの数値は、持続可能な開発目標（SDGs: Sustainable Development Goals）が定める目標値（妊産婦死亡率は70、5歳未満児死亡率は25）と大きな隔たりがあり、今後も母子保健の改善が必要な状況です。

セネガルで女性が妊娠すると、正常経過の場合は、妊娠期から出産・産後のケアまで最寄りの保健ポストや保健センターで経過を見ていきます。しかし、妊娠中に合併症や異常がある女性は、保健ポストの場合は保健センターや病院へ、保健センターの場合は病院へ、それぞれ上位機関へ紹介・搬送されます。

母と子に寄り添ったケア

このようなセネガルで、母子保健の向上のため、2009年よりJICAは母子保健サービス改善プロジェクトを実施してきました。フェーズ1は2009年～2011年の3年間、セネガルで最も母子保健指標の悪い農村部のタンバクンダ州で開始しました。母子が備えている本来の力を引き出す日本の助産ケアを基本とし、行政・医療施設・コミュニティが協働し、妊産婦に寄り添ったケアを行いました。行政・医療機関・コミュニティが協働したケアをひとつのモデルとし、フェーズ2では2012年～2018年の約6年間、全国14州のパイロット保健区（1つの保



写真③ワークショップの様子

健センターと3つの保健ポスト)で展開されました。フェーズ3は2019年から5年間の予定で開始し、フェーズ2まで対象としていた一次・二次医療施設に加え、搬送先の上位機関であり学生の臨床実習も行われている三次医療施設である病院も対象に含めました。

2019年の派遣後、三次医療施設の現状分析調査を行い、搬送や異常分娩の多い三次医療施設でどのように母子に寄り添ったケアを行っていくか、ケアの質をあげる取り組みを行うか、州医務局・病院関係者そして母子保健局母新生児課の職員と幾度となく話し合いを重ねました。2020年初頭にコロナ禍に見舞われ、日本人専門家は退避帰国となったため、再赴任までは日本から遠隔で支援していました。そして2020年末に再赴任を果たし、そこから膝と膝を付き合わせて母新生児課課員と話し合い、州医務局・病院関係者とともに、「妊産婦・新生児が尊重されたケア」の指導者研修、医療従事者研修を作り上げました。現状分析調査結果を踏まえて、現場の声を研修内容に活かすよう、助産専門家とともにドラフト案を作成し、母新生児課の課員と協議を重ねました。(写真③ワークショップの様子)

妊産婦・新生児が尊重されたケアとは

もともと、世界中の医療施設での出産中に、多くの女性が軽蔑的で虐待的な扱いを経験している状況があり、2014年、WHOは施設分娩中の軽蔑と虐待の予防と撲滅の声明を出しました^v。声明の中で、妊娠・出産時に質の高いケアの提供を促進すること、政府や開発パートナーや関係者が参加しケアの質を改善することなどが述べられています。さらに2016年、WHOは医療施設での母新生児ケアの質改善スタンダードを定め、質の悪いケアが死亡率や罹患率に影響を与えると考え、ケアの質に注目しました^{vi}。すべての妊婦と新生児が、妊娠・出産・産後を通して質の高いケアを受けられること、即ち、尊重されたケアを受けられるように基準を策定しました。そして2018年、WHO推奨「ポジティブな出産体験のための分娩期ケア」が発表され、臨床的にも心理的にも安全な環境で、付添人と思いやりがあって技術的に優れた医療スタッフから、実際的で情緒的な支援を継続的に受けながら、健康な新生児を産むことが掲げられました^{vii}。

セネガルにおいても、業務過多や機材不足・医薬品不足から、質の高いケアを提供したくてもできて



写真④指導者研修の様子

いない現状があり、心を痛めている看護師・助産師がいました。妊産婦・新生児が尊重されたケアを実践するためには、人材・設備・機材なども含め施設環境を整え、医療従事者自身も守られることが必要です。また、根拠に基づいたアセスメント能力や技術があることにより、医療従事者が自信を持って質の高いケアを提供することができるようになります。そのためには、指導者研修、医療従事者研修で知識や技術をアップデートすることも必要です。医療従事者の職場環境が整い、自身の能力向上がなされると、医療従事者が業務に貢献することができるため、妊産婦・新生児が尊重されたケアが広く提供されることになるでしょう。幸せな出産体験は、産婦と新生児にとって、また家族にとって、そして医療従事者にとっても、かけがえのない体験となります。予防可能な死亡を減らし、1人でも多くの妊産婦と新生児の命が救えるよう、セネガルの医療従事者たちは今日も奮闘しています。(写真④指導者研修の様子)

参考文献

- i 外務省HP: セネガル共和国 セネガル共和国 (Republic of Senegal) 基礎データ. 2020 <https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/senegal/data.html#01> (2022年3月8日アクセス)
- ii Our World in Data :

人口1000人あたりの医師数 (2018) <https://ourworldindata.org/search?q=medical+doctor>
 同 看護師・助産師数 (2018) <https://ourworldindata.org/search?q=nurse+midwife> (2022年3月8日アクセス)

- iii WHO Health workforce requirements for universal health coverage and the sustainable development goal : <https://apps.who.int/iris/handle/10665/250330> (2022年3月8日アクセス)
- iv The Demographic and Health Surveys Program : https://dhsprogram.com/Countries/Country-Main.cfm?ctry_id=36 (2022年3月8日アクセス)
- v WHO 施設分娩中の軽蔑と虐待の予防と撲滅 : http://apps.who.int/iris/bitstream/handle/10665/134588/WHO_RHR_14.23_jpn.pdf;jsessionid=7F375F01393751D12DEC1F8E2D9F92D1?sequence=21 (2022年3月9日アクセス)
- vi WHO Standards for improving quality of maternal and newborn care in health facilities : https://cdn.who.int/media/docs/default-source/mca-documents/advisory-groups/quality-of-care/standards-for-improving-quality-of-maternal-and-newborn-care-in-health-facilities.pdf?sfvrsn=3b364d8_2 (2022年3月9日アクセス)
- vii WHO推奨 ポジティブな出産体験のための分娩期ケア、2021年、医学書院